

自然科学研究機構国立天文台 特任研究員（年俸制職員、研究課題「ALMA による暗黒矮小銀河とダークマターの解明」）募集

【募集人員】 特任研究員 1名

【職務内容】

国立天文台チリ観測所では、日本国内の大学に在籍する研究者が ALMA を用いた科学研究を推進していただくために、「ALMA 共同科学研究事業」を設立しました。ALMA 共同科学研究事業については、以下を御覧ください。

https://researchers.alma-telescope.jp/j/support_programs/almagrant/

本事業に基づき、ALMA の観測データ（アーカイブを含む）を用いた研究課題「ALMA による暗黒矮小銀河とダークマターの解明」を推進していただく特任研究員を募集します。本研究課題の採択者である近畿大学・井上准教授の指導の下、本特任研究員には勤務時間の 100% を用いて本研究課題を推進していただくと共に、ALMA プロポーザルも積極的に提出してもらいます。研究成果として、年 1 編以上の投稿論文の出版と年 1 件以上の ALMA プロポーザルの提出に加え、本研究課題を推進する場合に限り、学生の研究等への指導・支援を行ってまいります。

【研究課題】

- ・ 研究課題名：
（和名） ALMA による暗黒矮小銀河とダークマターの解明
（英語名） Probing dark dwarf galaxies and dark matter with ALMA
- ・ 研究概要：
10kpc 以下の小スケールにおいて構造形成に関する理論と観測が一致しない「行方不明の矮小銀河問題」が知られている。この問題を解決するため、申請者らは、「フラックス比異常」を示す重力レンズ系を用いて小スケールの構造を解明する新手法を確立し、中間赤外線観測された重力レンズ系を用いて温かいダークマターモデルに対する観測的な制限を付けることに世界で初めて成功した(科研費基盤(B) 25287062)。本研究では、この成果をさらに発展させ、より精度の高い理論モデルを構築し、電波干渉計 ALMA によって観測された重力レンズ系の解析結果と比較することにより、宇宙における暗黒矮小銀河や小スケール非線形構造を観測的に解明する。これらにより、小スケールにおける構造形成問題の解決へ向け大きな前進を図る。

【所属（勤務地）】 近畿大学（大阪府東大阪市）

※ 国立天文台で採用し、同日付で近畿大学と国立天文台で在籍出向契約を結び当該大学へ出向していただきます。

【身分・待遇】

- ・ 給与は年俸制。月額 35 万円を毎月支給。
- ・ 通勤手当を支給（上限 55,000 円／月）
- ・ 健康保険（文部科学省共済組合）、年金（厚生年金）、雇用保険および労災保険に加入
- ・ ボーナス、退職金の支給はありません。

（出向時の勤務条件）

- ・ 週 5 日（月～金）1 日 7 時間 45 分勤務（土、日、祝日、年末年始は休日）
- ・ 有給休暇（年次有給休暇、夏季休暇、忌引他）あり

【着任時期】 平成 30 年 10 月 1 日から平成 31 年 3 月 31 日までのなるべく早い時期

【契約期間】

- ・ 原則として着任日より 2 年間。
- ・ 本研究課題は、本特任研究員の着任から 1 年半経つ日までに、中間審査が実施されます。その審査の結果により、本特任研究員の契約期間を 1 年間延長することがあります。
- ・ ただし、平成 25 年 4 月 1 日以降に自然科学研究機構に雇用歴がある場合、平成 25 年 4 月 1 日以降の通算雇用期間が 10 年を超えないように契約期間が設定されます。
- ・ 採択者が他大学または他機関に異動された場合、一緒にその大学または他機関に異動していただくこととなりますが、異動先で本特任研究員を受け入れることができなかった場合、就業場所を国立天文台（東京都三鷹市）として研究を継続していただくこととなります。

【応募資格】 関連分野で博士の学位を有するか、それと同等の研究能力を有する者。

【提出書類】

- ・ 以下の提出書類を英文で作成し、全てを PDF に変換して、応募締切までにメール添付で下記アドレス宛にお送りください。

alma-grant-application_atmark_nao.ac.jp（_atmark_を@に置き換えてください）

- ※ PDF 作成にあたっては解像度に注意し、あまり容量が大きくなり過ぎないようにしてください（メール一通につき最大 10MB 程度まで）。
- ※ 電子メールの応募を受領した場合、確認のため受領のメールを返送します。受領のメールが祝休日を除く 2 日以内に返送されない場合、上記アドレス宛にお問合せください。
- ※ メール の 件名（Subject）には、応募する研究課題名を明記してください。

- ・ 提出書類
 - (1) カバーレター（研究課題名を明記すること）
 - (2) CV
 - (3) 研究論文リスト（査読論文とその他を区別し、共著論文の場合は応募者の役割分担を記すこと）
 - (4) 主要論文3編以内のPDFファイル
 - (5) 職務に対する抱負と計画
 - (6) 推薦書2通以上（推薦書は、推薦者が応募締切までに提出先に直接送ること）
 - (7) 速やかに連絡できる本人連絡先

- ・ 応募締切：2018年5月17日 日本時間 15:00 必着

【採用の決定】

国立天文台有期雇用職員等審査委員会での承認が必要となります。

【問合せ先】

- ・ 応募に関する問合せ：
国立天文台 事務部総務課人事係
E-mail: apply-qa_atmark_nao.ac.jp（_atmark_を@に置き換えてください）
- ・ 研究内容に関わる問合せ：
近畿大学理工学部理学科 准教授 井上 開輝
E-mail: kinoue_atmark_phys.kindai.ac.jp（_atmark_を@に置き換えてください）
- ・ その他：
国立天文台 チリ観測所 ALMA 共同科学研究事業担当
E-mail: alma-grant-application_atmark_nao.ac.jp（_atmark_を@に置き換えてください）

【その他】

- ・ 科学研究費等の外部資金獲得は可能ですが、研究課題に即した内容であるかどうかを国立天文台チリ観測所が判断した上で認められることとなります。
- ・ 国立天文台は男女雇用機会均等法を遵守し、男女共同参画社会の実現に向けた取り組みを進めています。詳しくは <http://open-info.nao.ac.jp/danjokyodo/> を御覧ください。
- ・ 本事業で採用された特任研究員は、以後、国立天文台の特任研究員（プロジェクト研究員）への採用が制限されます。詳細はお問い合わせください。

以上